

1 当該学年・学期等における探究課題 《今の自分にできることを考える》

2 単元名 『今の自分にできること』 (全30時間=実施時期:7月~3月)

3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

幼稚園児との交流や6年生を送る会などの、企画・運営をする活動を通して、活動の目的をとらえ、活動がより良くなる有効な方法について考えることで、思いやりや助け合いの心情を育み、より良い生き方について考えたり、最高学年に向けての自覚をもったりすることができるようにする。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		・幼稚園児との交流や6年生を送る会を行う目的を考え、課題を見つける。	・幼稚園の先生や6年生にインタビューやアンケートを行う。 ・関わり方や遊び方など、本やインターネットで調べる。	・調べたり、話し合ったりしたことを整理し、役割分担を行い、準備を進める。	・幼稚園児との交流や6年生を送る会の企画・運営を行ったことについて振り返り、意見を交流する。
引き出したい姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)		幼稚園の先生や6年生に対してインタビューを行うことで、来年度入学してくる園児に対して愛着をもったり、これまで支えてくれた6年生に対しての敬意をはらうことができた。		交流することを通して、来年度、最高学年になる自覚や、出部地区の園児に対して、思いやる心をもつことができた。
	やり抜く力 (忍耐と向上心)	園児や6年生に対して、どんな活動をするためあてが達成できるかを考え、自分なりに具体的な活動を考えることができた。			
	まき込む力 (発信と協働)			調べたり、話し合ったりしたことを共有することで、多面的に考えることができるようになった。	園児との交流や6年生を送る会の企画案を話し合う際、友達に対して、自分の考えを分かりやすく伝えることができた。
仕掛け・工夫	もの	幼児教育用の玩具	インターネット		
	ひと	幼稚園や保育園の先生 6年生 出部地区の園児	幼稚園教諭 保育士		幼稚園・保育園で交流
	しごと(こと)	市内の幼稚園、保育園の数 幼稚園教諭、保育士の仕事			
アウトプットの工夫		グループごとに発表を聞きあったり、クラスごとに交流し合ったりする。4年生に向けて、学習成果の発表を聞いてもい、次年度に生かしてもらおう。(R4は実施できず)			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

6年生を送る会

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

幼稚園に出向いて、出部地区の園児との交流をする。

◆単元のねらい「幼稚園児との交流や6年生を送る会などの、企画・運営をする活動を通して、活動の目的をとらえ、活動がより良くなる有効な方法について考えることで、思いやりや助け合いの心情を育み、より良い生き方について考えたり、最高学年に向けての自覚をもったりすることができるようにする。」

課題設定

来年度、新1年生として入学してくる幼稚園の友達にどんなことができるかを考える。



幼稚園の友達の気持ちを考えながら、一緒に遊びを楽しむために気を付けることを考える。



話し合ったことをもとに課題を設定する。



幼稚園との交流

幼稚園児を学校に招いて夏祭りをしよう

めあて

自分の班…… **班**

自分の班の園児のことをかんさつしよう

名前	名前
すきなこと・もの	すきなこと・もの
にがてなこと・もの	にがてなこと・もの
メモ	メモ

情報収集

幼稚園児が楽しめる遊びを図書室の本や資料をもとに調べる。

整理・分析

グループごとに調べた遊びについて話し合い、遊びを決定する。



遊びに必要な役割分担を話し合い、準備を進める。

まとめ・表現



幼稚園に行き、グループごとに集まって、園児と遊ぶ。



活動を振り返り、ワークシートにまとめる。

◆ 成果 (○) ・ 課題 (△) ・ 来年度に向けて (☆)

○相手意識をもって活動することができた。園児が楽しめる遊びをグループで話し合うことで、園児の立場に立って、遊びを多角的に捉えることができた。

△まず、園児のために、してあげたいことを事前にたくさん考えておいて、次に、園児の実態に合わせて活動を精査していく必要を感じた。そうすることで、遊ぶことだけでなく、もっと他の活動もできたのではないかと思う。また、何度か遊んだだけでなく、継続的に幼稚園と関わることに繋つなっていくと思う。

☆課題設定をする際に、幼稚園の先生から、園児の実態や発達の様子のお話を聞くことができなかった。幼稚園の先生のお話を聞くことで、自分の成長を振り返ることにもつなぐと感じた。